



## 教え方のヒント (Teaching Tips)

### コーラーラブ年次総会

(2002年コーラーラブ年次総会 バージニア州リッチモンドにて)

2008年11月1日改訂

ベーシックとメインストリームのプログラム リストの変更を反映するために  
ベーシックとメインストリームのコールはアルファベット順に掲載した。

#### はじめに：

以下の情報は、コーラーラブ年次総会で、ティム マリーナー氏とアンディ ショアー氏によって運営された『インタレスト セッション』での、「メインストリームの教え方のヒント (Mainstream Teaching Tips)」グループの、報告である。  
コーラーラブでは、コーラーに、コールを教え始める前に、「動作の定義」と「メインストリーム スタンダード アプリケーション」の、復習を提案している。  
指導者に求められていることは、コールを理解することであり、決して定義の受け売りをダンサーにすることではない。

#### 学習を助ける事柄：

用語の中には、「指示を示す英語」が、いくつかある。  
コールの中には、実際の「動き」を説明する「名前」が付けられているものがある。  
もし、その動きを、「名前」で理解できれば、その「名前」で、説明すればよい。  
あるコールには、動作と全く異なった「名前」がついているので、そのコールでは他の動作と混同することは、ほとんど無い。  
ダンサーがすでに知っている「言葉」で、語りかけなさい。  
まず、これから何をしようとしているかを伝え、動かせてみて、その結果がどうあったかを、伝えるようにしなさい。  
その動作が、どこから始まり、どこで終わるかを教えなさい。・・・始めと終わりの隊形を確認させなさい。  
必要なら、動作のデモンストレーションをしなさい。必要最小限のダンサーを使って。・・・2人とか、4人または8人など。  
動作が終わった後、コールした「動作の名前」を、ダンサーに繰り返させて、「動作」とその「名前」との関連付けをさせなさい。  
2カップルを使って、二人あるいは四人で動くコールを教えたり、復習をしなさい。  
これらのことが、隊形に関心に向ける助けになります。  
できるならば、新しいコールを、教える前に、ダンサーの流れ (Traffic Patterns) を紹介しなさい。(たとえば、トレイド バイ)  
コール (新しい動き) を説明したり、定義づけたりするときは、できるだけ正確な「用語」を用いなさい。 センターズ、エンズ、リーダーズ、トレイラーズなどと。

### 難しさを助長する事柄：

動作には、とてもよく似た動きのものがいくつかある。

「コール」のいくつかは、同じように聞こえる。(訳者注：日本では、スター スルー (Star Thru) と、パス スルー (Pass Thru) の発音の区別など)。

同じ言葉で終わるコールがたくさんある (スルー Thru)。

ダンサーに、隊形に、注意を傾けさせるコールもいくつかある。

コーラーラブで提案されているティーチング オーダーに従って教えて見なさい。

### 教え方のヒント – メインストリーム：

#### アラモ スタイル (Alamo Style)

イ) ウエイブを削っているように、手は調整する。

ロ) 一歩下がって、リングができていることを確認する。

#### オール アラウンド ザ コーナー (All Around The Corner)

イ) 両手を使わない「ライト アーム ターン」のように。右肩で。

ロ) 動作が終わるまで、アイ コンタクトを、し続けるように。

ハ) この動作の名前の、「ザ レフト ハンド レディ」が、女性に左を向くようにさせ勝ちなので、助け船を。

ニ) この動作をより良く説明している「ウォーク アラウンド ザ・・・」に、名前を付け替える必要がある。

(訳者注：このコールは、「オール アラウンド ザ レフトハンド レディ (All Around the Left Hand Lady)」や「オール アラウンド ザ コーナー (All Around The Corner)」として用いられてきたが、2008年1月9日付けで、名前が「ウォーク アラウンド ザ コーナー (Walk Around The Corner)」と変更された。原典には、まだこの変更が反映されていないので、そのままとした。)

#### アレマンド レフト (Allemande Left)

イ) 左手の「前腕」をとる。もう一方の手はそのまま。

ロ) 肘は曲げる。

ハ) きつく握らない。

ニ) 動作が終わる前に、取り合っていた手は、速やかに下ろす。

#### アーム ターンズ レフト / ライト (Arm Turns Left / Right)

イ) 上の、アレマンド レフトと、同じ。

ロ) ライト ハンド レディ (Right Hand Lady) や、お向かいさん (Opposite) を紹介するのに、アーカンソー トラベラー ルーチン (Arkansas Traveller Routine) を、利用しなさい

(訳者注：アーカンソー トラベラー ルーティンとは、  
『 まず一組の男性が二組の女性 (ライト ハンド レディ) を訪ねて、右腕回転 (ライト アーム ターン (Right Arm Turn)) をする。ホームに戻り、パートナーと左腕回転 (レフト アーム ターン (Left Arm Turn)) をする。次に三組の女性 (オポジット レディ) と、右腕回転をし、ホームに戻って、パートナーと左腕回転。今度は四組の女性 (コーナー レディ) と右腕回転をして、ホームに戻ってカートシー ターン。  
以上の動作を、二組の男性、三組の男性、四組の男性と繰り返す。  
次は、ヘッドの男性 (Head Boys) が、二人同時に、それぞれライト ハンド レディ、オポジット レディ、コーナー レディを訪れて、同じ動作を。ヘッドの男性の次は、サイドの男性 (Side Boys) も、同じ動作を繰り返す。  
もう一つついでに、四人の男性 (All 4 Boys) が、同時に四人の女性を訪ねることも、やってみよう。うまくいったらお慰み。』)

### ベンド ザ ライン (Bend The Line)

- イ) 各ラインの半分 (訳者注：二人ずつに、中央で分かれる) で、互いに向かい合うように、90度向きを変える。
- ロ) 本を閉じるときのように、中央でたたみ込む。
- ハ) ラインをつくる時、二人は手をつないだままで、離さない。
- ニ) 素早く残りの手を取っておわる。
- ホ) ラインのセンターの人は、常に後ろへ下がる。エンズは常に前へでる。

### ボックス ザ ナット (Box The Gnat)

- イ) ジルバみみたいなステップだ。
- ロ) 女性は左回りに180°、男性は右回りに180°回って、位置を交換する。
- ハ) 手は握らない。女性は男性の掌でつくられたカップに、指先をそえて回転する。

### カリフォルニア トワール (California Twirl)

- イ) 手は、握らない。
- ロ) 男性は、右向きまわり、女性は、左向きに回る。
- ハ) 背中の壁に向いて、終わる。
- ニ) 手は、普段 (Normal) のように、取り直す。

### キャスト オフ スリークォーターズ (Cast Off 3/4)

- イ) 中央から、追い出されるように。
- ロ) 回転するときに、壁の数を数える。(訳者注：回転の角度を確認するため。)
- ハ) 1/4回転を後ろにしたのと、同じ結果で終わる。

### センターズ イン (Centers In)

- イ) 英語の通り。

### サークル レフト / ライト (Circle Left / Right)

- イ) 男性は、手のひらを上に、女性は手のひらを下に
- ロ) シャフル ウオーク (訳者注: 足の裏で床を滑るように歩く) で。
- ハ) 手は握らない。男性の手は、あたかも女性の手を休めるための台で有るかのよう  
うに。
- ニ) 顔は、動く方向に軽く向けて。

### サークル トゥ ア ライン (Circle To A Line)

- イ) 普通、「ベンド ザ ライン」の動作をした後のように、「ライン」が正しく  
できたか、注意深く、動作の完了を、待つ。
- ロ) 普通、この動作の終わり方を、より良く理解させるために、「カリフォルニア  
トワール」を、この前に教える。
- ハ) 四人のサークルで、半回転 (Half Way) を、始めに教えるとよい。
- ニ) サークルを半分 (1/2) 回って、外に出たカップルは、「ビア レフト」をする。  
この間に、内側に入ったカップルは内から外に向けて、「カリフォルニア ト  
ワール」をする。

### サーキュレイト (Circulate)

- イ) 始めに、ダンサーに隊形を、理解させる。
- ロ) 目の前の人の位置に移動させる。跳び出す前に、よく位置を確認して。
- ハ) 徐々に難しさを加えながら。まずシングル ファイル、カップルで、ツー フ  
ェイスド ラインのエンズとセンターズ、そしてウエイブのエンズとセンター  
ズ。  
最後にオール・エイト (All 8 Circulate) を。
- ニ) 顔の向きが異なっているときは、まず手を離す。
- ホ) 全員にすべての位置を経験させて、右か左かを考えずに、隊形上、一つ先の位  
置に進む事を気づかせる。

### クローバーリーフ (Cloverleaf)

- イ) 先頭のカップルズ (Leads) は、分かれて誰かと出会うまで、外側を周り、出会  
ったらカップルになり、中側の手を取り合って前に進む。
- ロ) 後に続くカップルズ (Trailers) は前進して、前の人に続く。そして、新しく  
出会った人と近い手を取って、前の組の後ろに立つ。
- ハ) 四つ葉のクローバーや、しばしばクローバーリーフと呼ばれる州間高速道路の  
ランプの出入り口を思い描いてごらん。単車線だけ。追い越しは無し。

### カートシィ ターン (Courtesy Turn)

- イ) 男性の手のひらを上に、女性の手のひらを下に向けて、左手同士をとる。
- ロ) カップルで内側を向くために、左回りのウィール アラウンド (Left Face Wheel

Around) をする。

ハ) 女性は右手を腰に置いて、男性は右手をそれに添える。

### ダンサーの名前 (Dancer Naming)

イ) コールを通じて、ダンサーの名前を紹介しなさい。(訳者注: 踊り手の名前ではなく、コーラーがダンサーに指示を与えるときの呼び方。・・・ヘッド、サイド、ボーイ、ガールなどのこと)

### ダイブ スルー (Dive Thru)

イ) センターズはアーチを作り、エンズはその下をくぐる。

ロ) アーチを作った人は、前に進む。(訳者注: アーチを作った) 手は離しても良い。

ハ) カプル#1 リード ライト、ダイブ スルー 6 タイムス、リード ライト、カリフォルニア トワール (Couple #1 Lead Right, Dive Thru 6 Times, Lead Right, California Twirl) などは?

### ディキシィ スタイル トゥ アン オーシャン ウエイブ (Dixie Style To An Ocean Wave)

イ) 右側のダンサーが、手を引き合って通り抜け、向かいのダンサーと左手のタッチ 1 / 4 (Left Touch 1/4) をする。

ロ) トゥー・レディーズ・チェイン (Two Ladies Chain) のように感じるが、カートシィ ターンはしないで、途中で (訳者注: レフト ハンド ウエイブ (Left Hand Wave) で止める。

ハ) 始めに、ハーフ サシエイ (Half Sashay) の半分をして、向かい合った人と、右手をとって引き合い (Right Hand Pull)、全員で左手のタッチ 1 / 4 (Left Touch 1/4) をする。

ニ) 「シングル ファイル」あるいは、「オン ザ ダブルトラック」を、始めに教える。

### ドーパソー (Do Paso)

イ) 他のアーカンソー トラベラー ルーティン (Arkansas Traveller Routine) (訳者注: アーム ターンズ レフト / ライト の項参照) と、同じようにカートシィ ターンで終わる。

ロ) アーム ターンと同じスタイリングで

### ドーサードー (Dosado)

イ) ダンサーが耳を傾けていられるように、「一口」で云おう。

ロ) 動作を始めた位置に、素早く戻って終わる。

ハ) 二人とも、お互いの周りを動いている。

ニ) スクエアの中では、同性同士であっても、全員ドーサードーをさせる。

### ダブル パス スルー (Double Pass Thru)

- イ) 各自、シングル ファイルで歩くように、向かいの人と右肩で通り抜ける。
- ロ) 指示を示す英語のひとつ。「みんな向かい会った人と、二度通り抜けをする。」

### エイト チェイン スルー (1, 2, 3 など) (Eight Chain Thru 1, 2, 3 etc.)

- イ) 数を数えるように指示する。「私は、皆さんが声を出して踊るのを、聴きたい。」
- ロ) 手を交互にしながらの「プル バイ」の連続。セットの外を向いたときは、「カートシー ターン」。
- ハ) 初めての時は、「ゆっくりと」と、言い続けよう。
- ニ) 常に、「**カラム**」の列を崩さないように。「サークル」には、しないように。

### エクステンド (Extend)

- イ) (**センターの人は**)手を離して、一步前を出て、外側にいる人と、同じ手 (**今、放した手**) で、ウェイブを作る。
- ロ) 外側にいる人は、お互いの手を離して、少しスライドするように離れて、前からくる人と、手を取れるようにする。

### フェリス ウィール (Ferris Wheel)

- イ) 外を向いているカップルズは、普通のウィール アンド ディールを。
- ロ) 内側を向いているカップルズは、サーキュレイトを半分して真ん中で出会ったカップルとウィール アンド ディールをして向かい合う。
- ハ) 中を向いている二つのカップルズ (**訳者注：斜めに位置しているが**) は、お互いにウィール アンド ディールをするために、まず前進する。
- ニ) すべてのカップルズは、顔の向きが動作を始める前の反対になる。

### ファースト カップル ゴー レフト/ ライト ネクスト ゴー ライト/レフト (First Couple go Left/Right Next go Right/Left)

- イ) カップルで、指示された方向に回って、今まで背中にしていた壁と向かい合う。エンズの人を回転の軸の中心 (Pivots) にするようにして。
- ロ) 素早く手を取り合ってラインをつくる

### フラッター ウィール (Flutter Wheel)

- イ) 腕 (Arm Hold) を使え。
- ロ) 外側の腕を使え。
- ハ) 左側のダンサーは、右側のダンサーをセンターに送り込んだら、すぐ向かい側へ向かって動き出す。

### フォールド (Fold)

- イ) 指示の英語。

- ロ) ラン (Run) と似ているが、フォールド (Fold) では、ランされる人は動かない。  
(訳者注：指示された人は、小さな半円を描く様に前進して、180度向きを変え、隣のダンサーの前、または後ろに立つ。)

### フォワード アンド バック (Forward & Back)

- イ) ダンサーに、内側の手 (Near Hands) を取らせる。  
ロ) エンズの人は、手を軽く向かいの人と合わせてもよい。  
ハ) 向かい側のダンサーに、目を向ける (look at)。

### グランド スクエア (Grand Square)

- イ) 始めは、ヘッズをしゃがませて、サイズの動きを見学させる。次に、サイズに同じようにしゃがませて、ヘッズの動きを見学させる。それから全員が、一緒に動いてみる。  
ロ) 前進も後退も3歩、それから四歩目は反対側の側面を動いている人と向き合うように、向きを変える。  
ハ) 決して、他の人の背中を見るようには、向きを変えない。常にパートナーもしくはオポジットと向き合うように、セットの中を向くように (Turn in)、向きを変える。  
ニ) ビートに合わせて、シャフル (訳者注：すり足) で歩く。いつも内側の手を、取り合うように努める。  
ホ) 小さな四角をトレースし、それを逆にトレースし直す。－ 鳥瞰図を見るように。それがグランドなのだ。

### ハーフ サッシュェイ ファミリー

#### － ロールアウェイ (Half Sashay Family - Rollaway)

- イ) 女性は、男性のいる方に向かって回転する。ただちに両手を取りあって、その後、すぐ男性の反対側に位置するため、始めに取り合っていた手 (Original Hands) は、離す。(訳者注：手を、持ち換える。)  
ロ) 女性が男性の反対側に移動する間、男性は少し後ろに下がって、また前に戻る。

### ハーフ タッグ (Half Tag)

- イ) 手を取り合って止まる。  
ロ) 通り過ぎない。  
ハ) お互いのラインが、半分の位置で肩と肩 (Shoulder to Shoulder) になったら、止まる。(2歩だけ。)  
ニ) エンズは向こう側にいたセンターのダンサー (Far Center Dancer) と、センターズは向こう側にいたエンドのダンサー (Far End Dancer) と出会う。

### レディース チェイン ファミリー (Ladies Chain Family)

- イ) 「女性を交換する」動作だと説明する。

- ロ) 女性は通過する男性の数を数える。男性は、前を回っていく女性をただ見ていただけだから。
- ハ) 男性に少し右によって(Slide Right), やや左を向いて、女性を迎えて、カートシー ターンを行う準備をする。

#### リード ライト(Lead Right)

- イ) スクエアド セットから、ヘッズまたはサイズを、レディース チェイン、プラ マネイド 1 / 2 をさせ、カップルのまま、外から右の方へ前進して(Walk out to the Right)、もう一組のカップルの前にたつ。
- ロ) この動作を繰り返す。「右へ連れて行って、もう一組のカップルの前に立つ。」とだけ、繰り返しながら。
- ハ) ところで「右へ連れて行く」と云って練習しているこの動作を、「リード ライト」と、云っている。

#### オーシャン ウェーブ ファミリー (Ocean Wave Family)

- イ) 一歩下がって、ウェイブ (波) の形を、確認する。
- ロ) チャールストンを踊るように、バランスをする。一歩前に出てタッチ、下がってタッチ。その波の「うねり」を観察する。
- ハ) 少し横に広がる。

#### パス ジ オーシャン (Pass The Ocean)

- イ) 通り抜け、お互い向かい合い、右手をとってウェイブをつくる。
- ロ) 通り抜けたら、すぐに止まって。
- ハ) 通り抜けて、向かい合ったら隣にいた人と右手を取り合っている。
- ニ) 角度に気をつける。女性にとって、「レフト タッチ 1 / 4 (Left Touch 1/4)」ではない。(訳者注: タッチ 1 / 4 は、向かい合った人で行うが、パス ジ オーシャンは、「右側にいる人(斜めに向かい合っている)が、前進して、左手を取り、互いに1 / 4 回転する。」と定義されている。)

#### パス スルー (Pass Thru)

- イ) 右肩で。
- ロ) 一度通り抜けたら、そこで止まって、手を取りあう。(訳者注; 横の人と)
- ハ) 一人通り抜けたら、歩き続けられない。もう、その人とは通り抜け出来ない。
- ニ) 通り抜けた人と、背中合わせになって、終わる。

#### パス トゥ ザ・センター (Pass To The Center)

- イ) パス・スルーをして、新しいエンズはトレード (Trade) を。
- ロ) 中央に向かって、パス・スルーを。
- ハ) トレードをするのを忘れない。



## プロマネイド - シングル ファイル / カップル (Promenade - Single File / Couple)

- イ) サークルを右へ、手は下ろしたまま、その方向に歩き続ける。(訳者注: シングル ファイル プロマネイドの時)。
- ロ) 男性は、前を歩いている女性の内側に一步踏み込んで、並んでサイド バイ サイドで歩く。(訳者注: カプル プロマネイドの時)
- ハ) 右手を取り合い、お互いに挨拶をし、その手は離さず、男性は手のひらを 上に、女性は手のひらを下に向けたまま、右手の下で左手をとる。

## リサイクル (Recycle)

- イ) エンズは一人で、ウィール アンド ディールを。一方他の人はフォールド (Fold) をして、隣り合っていたエンズのパートナーとして後に続く (Follow)。
- ロ) 右手のウェイブからは、センターがランをして、ハーフ タッグ、フェイス イン (Run, Half Tag, Face in) をしているように感じられる。
- ハ) 各ウェイブの半分ずつが、お互いに向かい合って終わる。

## ライト アンド レフト グランド ファミリー (Right & Left Grand Family)

- イ) 手や肩は、互い違いに。
- ロ) ダンサーに「数を数えながら歩く」習慣をつけさせる。
- ハ) 手を離すのを、忘れないように。
- ニ) 男女の進む方向を、正しく教え込む。このことで、後からザー(Thar)を教えるときに、楽に教えられます。
- ホ) ライト アンド レフト グランドを、手を使わずに、させてみる。(ウェイブ イン アンド アウト (Weave in and out) と言って)。

## ライト アンド レフト スルー (Right And Left Thru)

- イ) 梯子やロープを登るときのように、右手を軽く握って、通り抜け、そしてカートシー ターン。
- ロ) 男性は、女性が貴方の前を歩くように仕向けてあげる。
- ハ) 右手をとって、次に左手をとって、そして貴方の向きが変わるまで、女性を回してあげる。

## ラン (Run)

- イ) この動作を、「スイング スルー」の前に教えるならば、ダンサーは、ウェイブに馴染んで、素早く出たり入ったり出来るようになる。
- ロ) 「ラン」をする人だけが、顔の向きが、逆になる。「ラン」をされる人は、横にずれるだけ。

## スクート バック (Scoot Back)

- イ) 内側を向いている人は、同じ手を3回使っているように感じる。

- ロ) 全員、向きが変わる。
- ハ) お隣の同じ人のところに、同じ手を取って戻る。
- ニ) 内側を向いている人は、ターン スルーをして、外側を向いている人は横の空いた場所にフォールド (Fold in)。そして二人が前と同じ手が取りあえるように、空いた場所に戻る。
- ホ) まず、手を離して前進。

### シーソー (See Saw)

- イ) 手を使わない、「レフト アーム ターン」と、同じように。左肩で。
- ロ) 動作が終わるまで、アイ コンタクトを、し続けるように。
- ハ) 「ウォーク アラウンド」の後に、コールされる時、その動作は**8の字**を描くようになる。

### セパレート アラウンド 2 または 1 (Separate Around 2 or 1)

- イ) スクエア セットから、ヘッズまたはサイズから、パス スルー、セパレート、アラウンド トゥー、お家に戻ってパートナーとスイングさせると分かり易い。(Heads/Sides Pass Thru, Separate Around two, Swing at Home.)
- ロ) イン アクティブ ダンサーの数を、数えていることを確認する。
- ハ) 数えながら進んでいるときに、他の人に出会ったら、右肩ですれ違う。

### シュート ザ スター (Shoot The Star)

- イ) お互いに、「位置を変える」だけのこと。(訳者注: **トレード(Trade)**のように)。
- ロ) 一般に、「スリップ ザ クラッチ」を、この前に教える。
- ハ) スクエアド セットから、「パートナーと向かい合って、左手アームターン (Turn Partner Left)」をし、「手は解かず男性の右手のスターをセットの中心で作る」。そして「スリップ ザ クラッチ」、「アレマンド レフト」のように「シュート ザ スター」かな。  
(From a squared set , Turn Partner left, men fold on and star, Slip the Clutch, Shoot the Star feels like Allemande left)

### シングル ヒンジ (Single Hinge)

- イ) 指示されたダンサーが、内側の手を軸に1 / 4回転 (Cast 1/4)。

### スライド スルー (Slide Thru)

- イ) 取り抜け、向きを変え、手を取り合う。
- ロ) 通り抜けた後、男性は常に右を、女性は常に左を向く。
- ハ) 手を使わない (No Hands) スター スルー。

### スリップ ザ クラッチ (Slip The Clutch)

- イ) 通常、この動作は、「シュート ザ スター」より前に、教える。

- ロ) ザー スターの、センターズ（内側にいる人）は、次の外側の人に出会ったら止まる事。

### スピン ザ トップ (Spin The Top)

- イ) 動作を始めるときの相手は、終えた時と同じ相手。
- ロ) 角を回ったら、また同じ人と出会えると伝える。
- ハ) ウェイブで始めた時と、直角の位置で（90度ずれて）終わる。

### スプリット トゥー (Split Two)

- イ) 指示を伴う英語。
- ロ) セパレート (Separate) を始めに教えよう。
- ハ) インアクティブ ダンサー（訳者注：動くことを指示されていないダンサー）は、分かれて離れた後（訳者注：指示されて動いているダンサーを通した後）、再び元の位置に戻る。

### スピン チェイン スルー (Spin Chain Thru)

- イ) これは、「数を数えながら踊るコール」(Mantra Call)の一つだ。―― 1/2, 3/4, 1/2, 3/4 と。
- ロ) 「スピン」の動作を、『エンズとその隣の人が「トレイド」をし、新しいセンター同志が、「キャスト 3 / 4」(Cast 3/4)をする。』と、説明する。新しくできた「ウェイブ」上で『「チェイン ダウン ザ ウェイブ」(Chain Down The Wave)』をする。
- ハ) 常に、「ウェイブ」の外側（エンズとその隣のセンターの人）から、始める。（「スイング スルー」は、常に右手を取り合っている者同士から始めるが。）
- ニ) センターにいた人は、始めの動作だけに関わる。
- ホ) この動作の途中で、じっとしていなければならない人もいる。スクエア ダンスを踊る上で、動かないでいるというのは、きついことだが。
- ヘ) この動作は、すべてが誰かとの、「トレイドとキャスト (Trade & Cast)」だ。一人で回転したり、動くことはない。
- ト) 貴方が一方の手を使いながら動いているときには、次の動作ではもう一方の手に関心の的を切り替える。
- チ) 始めにトレーラーでエンズにいた人（中を向いていた人）が、センターにウェイブを作ったときの、ベリー センターで「チェイン スルー」をする人になる。

### スクエア スルー (Square Thru)

- イ) 手は、交互に。
- ロ) 通り抜けるように真っ直ぐ前に歩く。
- ハ) 次の手を出す前に、ボックスの中を向くように向きを変える。
- ニ) ボックスの4カ所をはっきりさせた上で、手を取る位置に歩みを進めなさい。

ホ) 常に、背中合わせで終わる。最後に手を引き合ったら、向きを変えない。

#### スターズ レフト / ライト ハンド (Stars Left / Right Hand)

- イ) シングル ファイル プラマネイドの隊形で、左手を伸ばして、中央で掌を合わせる。
- ロ) それから、向きを変えて、右手スターで来た道に戻る。

#### スター プラマネイド (Star Promenade)

- イ) パートナー / コーナーを、ピック アップして・・・手を腰に回して。

#### スター スルー (Star Thru)

- イ) お向かいの人と。
- ロ) 男性は右手。女性は左手。
- ハ) 男性は、女性の手を握らないで、指先を上に向けたまま、前に差し出す。女性は、左手で、その手に触れ (タッチ)、その下を、左回り (Left Face) に、向きを変える。

#### スイープ ア クォーター (Sweep A Quater)

- イ) 直前のコールで回転していた方向に、ボックス全体を 1 / 4 回転させる。
- ロ) 顔の向きは、向かい合ったまま。

#### スイング (Swing)

- イ) ワルツを踊る時のように、社交ダンス (Ballroom Dance Position) のポジションをとらせる。
- ロ) 男性の左手と女性の右手で、手のひらを合わせ、ポンプのハンドルを、形づくる。
- ハ) お互いに右腰が近づくように (訳者注: 左に) 移動し、その場で歩いて回転する。
- ニ) (プラマネイドに入る時や、サークル レフトに入る時) 女性を、右側に置いて終わる。
- ホ) デモンストレーションをする。

#### スイング スルー (Swing Thru)

- イ) 「トレード」 (Trade) を始めに教えると、わかりやすくなる。
- ロ) 右手をとっている人と始めに正確に半回転する。次に内側に入った人が正確に左手で半回転する。
- ハ) 外側に出た人は、向きを変えずにじっとその位置にとどまる。

#### タグ ザ ライン (Tag The Line)

- イ) まず、やってみよう。
- ロ) あなたの居るライン上の仲間と、個々に向きを変える。

- ハ) ラインの中央に向かって、向きを変える。
- ニ) ダブル・パス・スルーをするときは、右肩すれ違い。

#### ザー ファミリー (Thar Family)

- イ) ザーの作り方を、教える。
- ロ) 「前進方向」がどっちかを、強調する。
- ハ) しばしば、「スリップ ザ クラッチ」 (Slip The Clutch) と、一緒に教えられる。

#### タッチ 1/4 (Touch 1/4)

- イ) 右手を取り合ってミニウエイブをつくり、お互いにそのまま1/4回転する。
- ロ) 回転の重心は、取り合った手のバランスのとれた真ん中。

#### トレード バイ (Trade By)

- イ) センターが通り抜けている間に、エンズは、パートナーと位置交換。
- ロ) センターは、向かい側のゾーンに動く。

#### トレード ファミリー (Trade Family)

- イ) 各々の、顔の向きは逆になる。
- ロ) ウエイブと外向きラインで、手を取り合ったトレード (訳者注: パートナー トレード (Partner Trade)、センターズ トレード (Centers Trade) など) と、手を取り合っていないトレード (訳者注: エンズ トレード (Ends Trade) と) がある。
- ハ) 同じ方向を向いていたのなら、お互いに右肩をすれ違うように動く。

#### ターン バック ファミリー (Turn Back Family)

- イ) パートナーと向き合う方向に回って、向きを変える。
- ロ) 回れ右
- ハ) 180度。

#### ターン スルー (Turn Thru)

- イ) 向かい側の人と背中合わせで終わる右手のアーム ターン。
- ロ) ウエイブから始める時は、まず後ろに下がらせて、ほぼ向かい合っているのと同じことを確認させる。
- ハ) 向かいの人と位置を交代し、通り抜けて、背中合わせで終わる。

#### ウォーク アンド ドッジ (Walk & Dodge)

- イ) 内側を向いている人は、前に歩き、外側を向いている人は、横にずれる。
- ロ) 始めに向いていた壁に向かって終わる。誰も向きを変えない。
- ハ) フォードでは、向きを変えられるが、ドッジでは出来ない。(訳者注: 米国製の自動車の Ford と Dodge に懸けた洒落。)

### ウィール アラウンド (Wheel Around)

- イ) カップルで、左回りに後ろの壁を見るように。
- ロ) カップルズ プラマネイドを教えるときに、これをすぐに使う。
- ハ) 男性は、女性を押し出すようにして前を回し、自分は、後ろに下がって逆方向にプラマネイドで進むように。
- ニ) 指示されたカップルズは、ウィール アラウンドが終わったら、素早く手を取って、隊形を整える。

### ウィール アンド ディール(Wheel & Deal)

- イ) 右肩すれ違いの原則を強調する。論理的には、右側のカップルが先に入る。
- ロ) カップルで顔の向きが変わる。
- ハ) 右か左かを考えずに、お互い相手カップルの方向に回転(Wheel)する。あたかもベンド ザ ラインを始めるように。
- ニ) 時には、ウィール イン ディール(Wheel IN Deal)と聞こえるようなコールがされる。

### ビア レフト/ライト (Veer Left/Right)

- イ) カップルで、横にずれて(Slide)、前に出る。
- ロ) カップルは、内側の手を離さない。

### ズーム (Zoom)

- イ) おもしろい名前だから、覚えやすい。
- ロ) リーダー(Leads)とトレイラー(Trailer)を教える。
- ハ) リーダーは、分かれて一周するようにして、今貴方の後ろにいる人の後ろに立つ。

この資料の日本語への翻訳、その複製の作成、配布について、2009年8月26日付けで International Association of Square Dance Callers (CALLERLAB) より正式な許可を得ている。

2009年10月

翻訳責任者

CALLERLAB 会員

久力 義之